



本社・工場

第55期

決算のご報告

平成18年8月21日～平成19年8月20日



 福島印刷株式会社

〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地
TEL(076)267-5111(代) FAX(076)267-8065
URL <http://www.fuku.co.jp/>



C906

Communication Agent for Market Driven

私たちは常にお客様と同じ視点に立ち、
エンドユーザーである「市場」を見つめながら
情報発信をお手伝いするパートナーとして、
存在価値を発揮してまいります。
そして、コミュニケーションの背後に生まれる
『長期信頼』を果敢に追い求めます。

福島印刷株式会社

証券コード 7870



ふくしまみちお
代表取締役社長 福島理夫

福島印刷「ならでは」の製品、サービス、プロセス。
独自性と収益力の高い組織へと、さらなる成長を目指します。

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、第55期(平成18年8月21日から平成19年8月20日まで)の決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

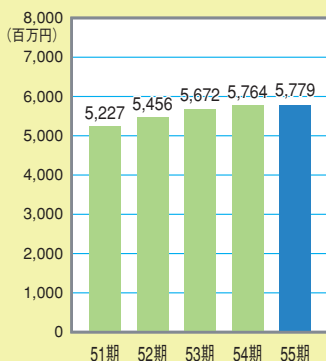
当事業年度におけるわが国経済は、原油価格高騰による素材価格の高止まりなど懸念材料は見られるものの、企業収益の改善やそれに伴う設備投資の増加に加え、雇用・所得環境にも改善が見られるなど、緩やかな景気回復基調となりました。

印刷業界におきましては、IT技術の進展による印刷需要の減少や競争激化による価格の低下に加え、原油価格高騰に伴う原材料価格の上昇などにより、依然として厳しい経営環境が続きました。

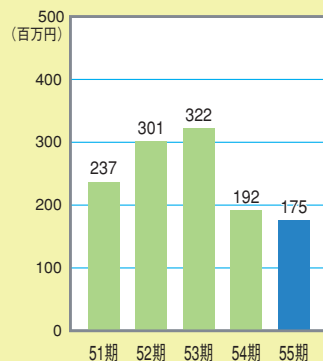
このような状況の中で、当社は、前事業年度に第二工場棟の増築を始めとする成長分野への大型設備投資を実施いたしました。当事業年度は、減価償却費用の負担増により収益的に厳しい状況が予想されましたが、後述いたします3つの取り組みの成果もあり、売上高は前事業年度を14百万円(0.3%)上回る57億79百万円となりました。また、利益面においては、新工場増設等に伴い減価償却費用が前事業年度と比較して1億96百万円増加したことにより、経常利益は前事業年度を16百万円(8.7%)下回る1億75百万円、当期純利益は新工場増築に係る補助金収入の発生により、前事業年度を11百万円(11.2%)上回る1億19百万円となりました。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも格別のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

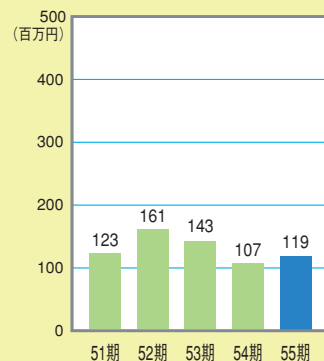
■売上高



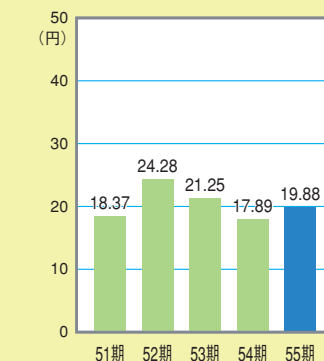
■経常利益



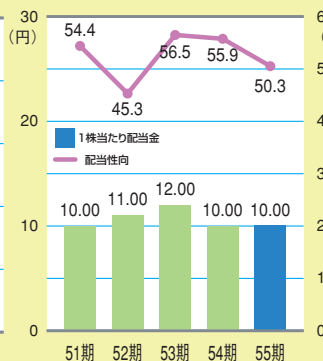
■当期純利益



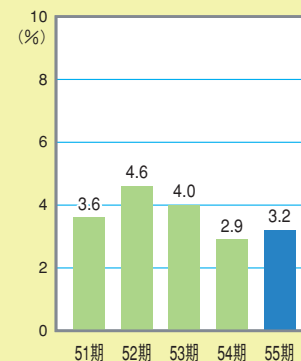
■1株当たり当期純利益



■1株当たり配当金・配当性向



■自己資本利益率 (ROE)



1 新設備と独自技術による「ならでは」の追求

設備面では高速8色輪転印刷機1台を増設し、早期の立ち上げ・戦力化によりDM・DPS(データプリントサービス)分野での生産能力拡大を実現しました。また、第二工場棟の有効活用やDM加工ラインの本格稼動にも積極的に取り組みました。



■高速8色輪転印刷機(ミヤコシ製BB36)

このような設備を活用し、独自技術による「ならでは」商品・サービスの開発に努め、市場ニーズに適應した企画提案活動を推進してまいりました。



■当事業年度の「ならでは」新製品(UDメール・PDメール・クーポン付きUDメール)

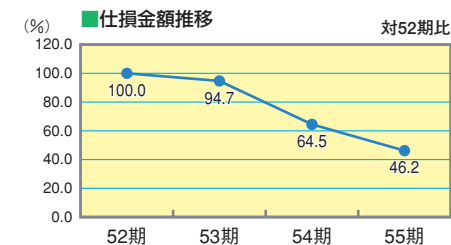
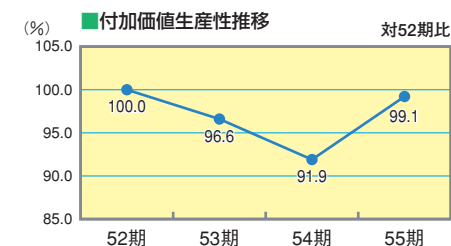
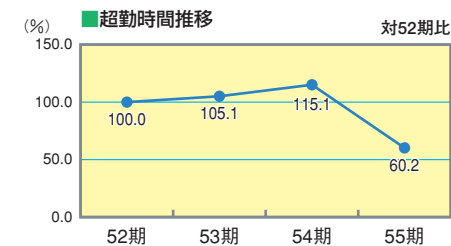
2 マネジメントシステムの進化と再構築

前事業年度に引き続き、プロセス全体を保証する品質保証体制の強化と全社全業務でのセキュリティ体制の更なる進化に取り組むと同時に、内部統制システムの構築に向けて、社内プロジェクトチームを編成し、その方針及び骨組みを決定するなど、準備態勢を整えてまいりました。

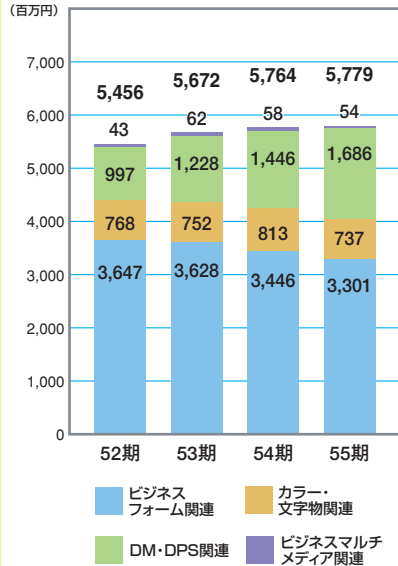
3 収益性の高い組織づくり

全社で弾力的な変形労働時間制を導入し、業務集中時の過負荷の改善に取り組みました。これによりワークライフバランスを図りながら生産効率の向上を実現いたしました。また、当社独自の付加価値指標を導入し、部門別及び分野別の収益管理制度を立ち上げ、全社の原価意識の進化を図るとともに収益性の向上につなげてきました。

効率・付加価値・品質(仕損)の指標において、いずれも前年よりよい数値を達成いたしました。

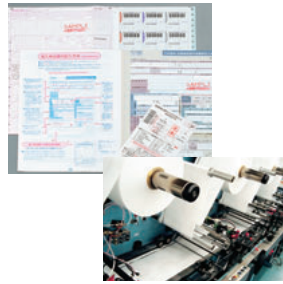


製品別売上高



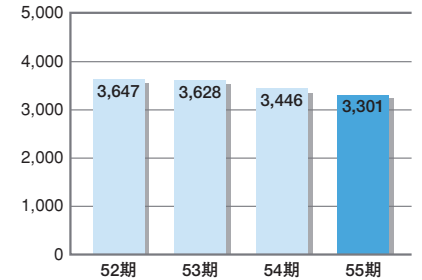
ビジネス
フォーム関連

- 複写伝票などの帳票類
- 事務通信
- 情報保護はがき など



ビジネスフォーム関連は、金融機関及び官公庁などの個人情報取扱業務のアウトソーシング化の進行により「情報保護シール付はがき」関連商品や「事務通信DPS(データプリントサービス)」が好調に推移したものの、企業のIT化の進展に伴う印刷需要の減少傾向に歯止めがかからず、売上高は前事業年度を1億45百万円(4.2%)下回る33億1百万円となりました。

売上高(単位:百万円)



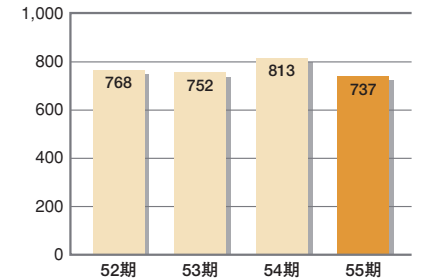
カラー・
文字物関連

- 会社案内など広報系印刷物
- カタログなど販促系印刷物
- その他文字物印刷物 など



カラー・文字物等商業印刷分野は、企業の広告宣伝費は増加傾向にあるものの、受注競争激化による価格の下落など受注環境は厳しく、売上高は前事業年度を75百万円(9.3%)下回る7億37百万円となりました。

売上高(単位:百万円)



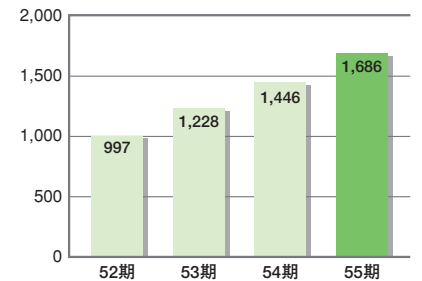
DM・DPS
関連

- はがき型ダイレクトメール
- 封書型ダイレクトメール
- One to One データプリント など



DM・DPS関連は、「A4ブックUDメール」とあと糊タイプのはがきDMなどの戦略商品の拡販に努めた結果、好調に推移しました。売上高は前事業年度を2億40百万円(16.6%)上回る16億86百万円となりました。

売上高(単位:百万円)



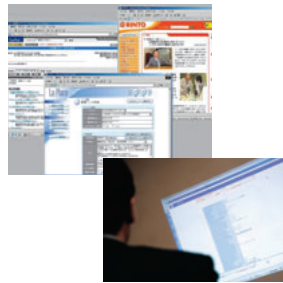
福島印刷の

4分野 シナジー業態

当社はビジネスフォーム(コンピュータ用連続帳票類)を基点に、カラー印刷、ダイレクトメール、事務通信、ビジネスマルチメディアへと事業分野を拡大してまいりました。この4分野の相乗効果により、当社だからこそできる独自性(＝ならでは)を追求しております。

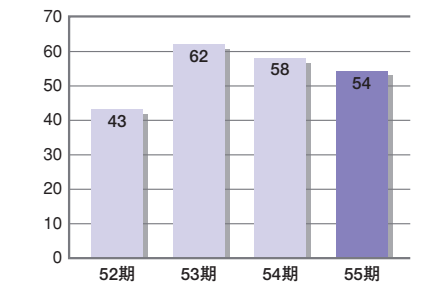
ビジネス
マルチメディア
関連

- ホームページ
- データベース など



電子カタログ等商品DB(データベース)関連、ホームページ等Web関連商品の企画提案活動を展開しましたが、売上高は前事業年度を3百万円(6.8%)下回る54百万円となりました。

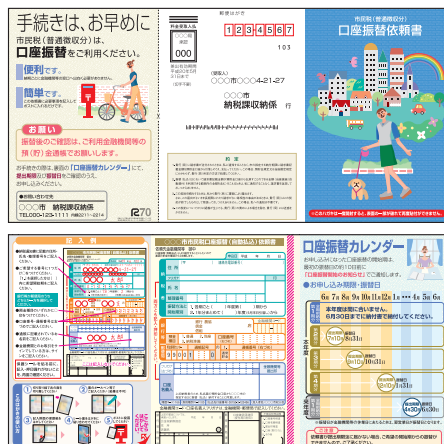
売上高(単位:百万円)



第1回 メディアユニバーサルデザインコンペティション 準グランプリ受賞

年齢、能力や経験などに関わりなく、すべての人が使いやすいように設計するという思想「ユニバーサルデザイン(UD)」をテーマとして開催された全日本印刷工業組合連合会主催の「第1回メディアユニバーサルデザインコンペティション」において、当社作品「市税口座振替依頼書はがき」が優秀賞(準グランプリ)を受賞いたしました。

当社ではビジネスフォーム分野を中心に、使う人たちの身になってモノづくりを行う「分かりやすさの再設計」活動に取り組んでおります。誰もが記入しやすく返信しやすい申込書の提案活動が、自治体や通信販売業界など多くのお客様に好評を博しました。



■受賞作品「市税口座振替依頼書はがき」



■IGAS2007 (東京ビッグサイトで開催) 会場での表彰式に参加(右から 代表取締役社長 福島理夫・制作管理課 大路靖司)

GIS(地理情報システム)を活用した ダイレクトメール提案

国勢調査などを基にさまざまな住民情報を地図上に表示できるGIS(地理情報システム)により商圈の特色をつかみ、配達地域を指定した冊子小包郵便サービス「タウンプラス」を使って費用対効果の高い販促活動を展開するという「ならでは販促提案」で、新たなダイレクトメール市場を開拓しました。



■北陸中日新聞より(平成19年6月15日掲載)

変形労働時間制導入などの 収益性改善取り組み

繁忙期には勤務時間を長く、閑散期には短くする「変形労働時間制」を導入し、大幅な超勤削減を実現いたしました。また、他部署支援を促進するために「社内通貨制度」を立ち上げ、生産の効率化を図りました。このような取り組みの結果、社員のコスト・効率への意識が高まり、収益性改善への大きな一歩を踏み出しました。



■VEC通信
付加価値・社内通貨・コストの社内取組みをタイムリーに共有(毎月発行)

貸借対照表

科目	当事業年度 (平成19年8月20日)	前事業年度 (平成18年8月20日)
【資産の部】		
流動資産	2,115,810	2,050,934
現金及び預金	614,822	384,917
受取手形	431,712	450,755
売掛金	756,099	818,352
製品	118,696	126,380
半製品	18,569	15,192
原材料	51,742	56,673
仕掛品	54,718	65,424
貯蔵品	19,763	8,817
繰延税金資産	45,342	42,104
未収法人税等	—	16,924
未収消費税等	—	61,926
その他	6,361	7,443
貸倒引当金	△ 2,019	△ 3,976
固定資産	4,735,243	4,902,705
有形固定資産	4,419,967	4,632,353
建物	1,976,220	2,136,033
構築物	58,976	71,744
機械及び装置	1,384,619	1,124,656
車両運搬具	18,789	4,851
工具器具備品	16,255	22,192
土地	965,106	965,106
建設仮勘定	—	307,770
無形固定資産	7,184	8,706
ソフトウェア	2,766	4,288
その他	4,417	4,417
投資その他の資産	308,091	261,645
投資有価証券	119,635	128,001
出資金	2,670	2,680
長期貸付金	4,100	10,100
破産・更生債権等	5,120	2,189
長期前払費用	18,960	5,283
前払年金費用	42,134	—
その他	120,591	115,580
貸倒引当金	△ 5,120	△ 2,189
資産合計	6,851,053	6,953,640

単位:千円

科目	当事業年度 (平成19年8月20日)	前事業年度 (平成18年8月20日)
【負債の部】		
流動負債	1,372,627	1,482,250
買掛金	178,299	238,791
短期借入金	370,000	390,000
1年以内返済予定の長期借入金	355,920	342,740
未払金	104,914	159,711
未払費用	216,929	243,675
未払法人税等	67,068	2,286
賞与引当金	63,968	69,165
役員賞与引当金	13,000	13,000
その他	2,525	22,881
固定負債	1,773,816	1,820,780
長期借入金	1,623,340	1,697,260
繰延税金負債	86,899	66,488
退職給付引当金	—	254
役員退職慰労引当金	63,577	56,777
負債合計	3,146,443	3,303,031
【純資産の部】		
株主資本	3,692,322	3,633,020
資本金	460,000	460,000
資本剰余金	285,200	285,200
資本準備金	285,200	285,200
利益剰余金	2,947,122	2,887,820
利益準備金	96,200	96,200
その他利益剰余金	2,850,922	2,791,620
固定資産圧縮積立金	172,153	172,153
別途積立金	2,555,000	2,505,000
繰越利益剰余金	123,768	114,467
評価・換算差額等	12,287	17,588
その他有価証券評価差額金	12,287	17,588
純資産合計	3,704,609	3,650,608
負債及び純資産合計	6,851,053	6,953,640

(記載金額は千円未満切捨)

損益計算書

単位:千円

科目	当事業年度 (自平成18年8月21日 至平成19年8月20日)	前事業年度 (自平成17年8月21日 至平成18年8月20日)
売上高	5,779,217	5,764,353
売上原価	4,308,433	4,293,447
売上総利益	1,470,783	1,470,905
販売費及び一般管理費	1,274,229	1,275,750
営業利益	196,553	195,155
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,188	2,275
その他	19,998	18,321
営業外費用		
支払利息	39,027	17,760
その他	3,780	5,309
経常利益	175,933	192,682
特別利益	54,000	15,917
特別損失	7,559	10,580
税引前当期純利益	222,374	198,020
法人税、住民税及び事業税	82,300	41,000
法人税等調整額	20,772	49,704
当期純利益	119,301	107,316

(記載金額は千円未満切捨)

■ 株主資本等変動計算書

(平成18年8月21日～平成19年8月20日)

単位:千円

	株主資本						株主資本合計	評価・換算差額等	
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金			株主資本合計			其他 有価証券 評価差額金
			利益準備金	固定資産 圧縮積立金	別途 積立金				
平成18年8月20日残高	460,000	285,200	96,200	172,153	2,505,000	114,467	3,633,020	17,588	
事業年度中の変動額									
剰余金の配当						△ 30,000	△ 30,000		
剰余金の配当(中間配当)						△ 30,000	△ 30,000		
別途積立金の積立				50,000		△ 50,000	—		
当期純利益						119,301	119,301		
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)								△ 5,300	
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	50,000	9,301	59,301	△ 5,300	
平成19年8月20日残高	460,000	285,200	96,200	172,153	2,555,000	123,768	3,692,322	12,287	

(記載金額は千円未満切捨)

■ キャッシュ・フロー計算書

単位:千円

科 目	当事業年度 (自平成18年8月21日 至平成19年8月20日)	前事業年度 (自平成17年8月21日 至平成18年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	785,517	157,725
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 408,904	△ 1,918,067
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 141,008	1,719,178
現金及び現金同等物の増加額	235,604	△ 41,163
現金及び現金同等物の期首残高	240,297	281,460
現金及び現金同等物の期末残高	475,902	240,297

(記載金額は千円未満切捨)

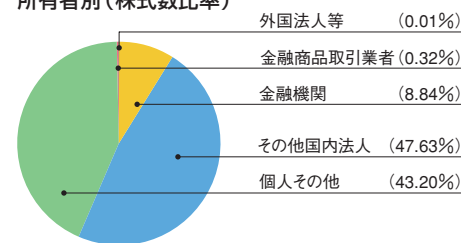
■ 株式の状況

- ①発行可能株式数 24,000,000株
- ②発行済株式の総数 6,000,000株
- ③株主数 2,004名
- ④大株主

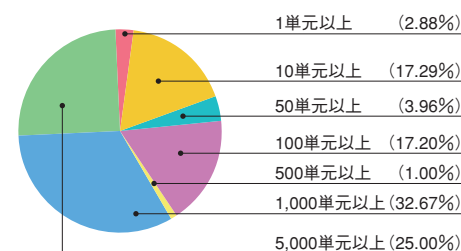
株主名	当社への出資状況	
	所有株式数(千株)	出資比率(%)
有限会社 アジリスト	1,500	25.00
名古屋中小企業投資育成株式会社	473	7.89
北国総合リース株式会社	304	5.07
株式会社北国銀行	280	4.67
福島島茂一	272	4.53
福島印刷従業員持株会	200	3.34
山崎久子	120	2.00
三菱製紙販売株式会社	110	1.83
大徳美術印刷株式会社	100	1.67
三菱製紙株式会社	100	1.67

■ 株式の分布状況

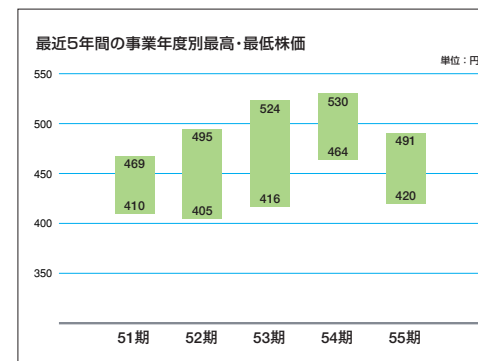
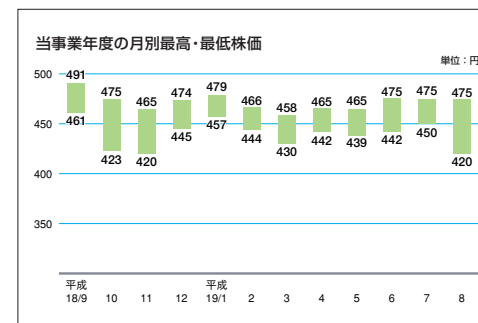
所有者別(株式数比率)



所有単元数別(株式数比率)



■ 株価の推移



(注)名古屋証券取引所における高値・安値を表示しております。当事業年度の月別最高・最低株価は、毎月1日より月末のものであります。



■ 役員 (平成19年11月16日現在)

代表取締役社長	福島 理 夫	取締役	粟津 十 志 実
専務取締役	下 畠 学	取締役	古 林 孝 之
常務取締役	館 芳 昭	常勤監査役	岩 見 隆 史
		監 査 役	中 野 弘 史

■ 会社の概要

商 号	福島印刷株式会社
英 文 名	FUKUSHIMA PRINTING CO.,LTD.
本店所在地	〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地 TEL (076)267-5111(代)
設 立	昭和27年9月10日
資 本 金	4億6,000万円
従 業 員 数	384名
事 業 所	本社及び工場 金沢市佐奇森町ル6番地 富山営業所 富山市上袋715番地1 福井営業所 福井市問屋町3丁目811番地 東京営業所 東京都中央区日本橋本町4丁目5番14号 入江ビル6F 大阪営業所 大阪市中央区平野町3丁目3番8号 辻梅ビル3F 名古屋営業所 名古屋市中区金山1丁目2番2号 クマダ第2ビル5F

事業年度	8月21日から翌年8月20日まで
定時株主総会	11月
基 準 日	定時株主総会 8月20日 期末配当 8月20日 中間配当 2月20日 その他必要があるときは、予め公告して定めた日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	[郵便物送付先] [電話照会先] 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 証券代行事務センター(〒168-0063) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

(お知らせ)
住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

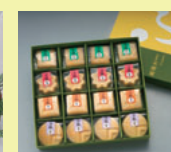
- フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付:自動音声案内)
- ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

単 元 株 式 数	100株
上 場 証 券 取 引 所	名古屋証券取引所
公 告 方 法	電子公告により当社ホームページ (http://www.fuku.co.jp/) に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法とします。
株 主 優 待 制 度	8月20日基準日現在1,000株以上の株主を対象に、3,000円相当の自社指定特産品4品から1品を、ご希望に応じて送付。

平成19年11月発送予定。



金沢五郎島金時



「不室屋」
宝の麩詰め合わせ



能登和牛すき焼き用肉



「直源醤油」
調味料詰め合わせ